

ダイヤモンドは何かですか？

ダイヤモンド道

—EAVのドクター・フォルと
意識指数のデヴィッド・R・ホーキンス博士に
敬意を表して—

田村(・タカ)熾鴻
(本名・富保)



サイババの言葉がヒントになって閃いた！

ダイヤモンドと共に生きながら心を磨く
神道でもなく
仏教でもなく
いかなる宗教でもない……ダイヤモンド道

まず冒頭でお詫びと感謝を申し上げたいと思います。腰痛での入院や菌菌からの炎症やらで皆さんにご心配と応援を頂きましたこと、感謝を込めて有り難う御座いました、とお礼申し上げます。退院したらしたで、またまた大変な学びがありました。報告させていただきます。

入院中は一ヶ月間も寝たままで、筋肉、特に足のフクラハギの筋肉が弱って、気が付けば、足の踝くるぶしから下の浮腫むくみのひどさにビックリしました。原因は、フクラハギの筋肉が落ちた事でした。たった一ヶ月間で血液を心臓に戻す事が出来なくなり、血液やリンパ液などが溜まっていました。筋肉を再生させる散歩も思うようには出来ず、足を上げる事でカバーしていますが、思わぬ寝たきりの弊害でした。三ヶ月間、半年間の入院の場合には、その状態に戻すのに、宇宙飛行士が帰還した後のリハビリと同じように、時間を掛けたりハビリが必要なようです。

宇宙飛行士たちは帰還した後、筋肉が全て落ちてしまっているのだそうです。帰還後の宇宙飛行士たちの情報は、ほとんど報道されていませんから知る由もありません。

この事をリハビリのプログラムと共に私に知らせてくれたのは、今号のたか・され倶楽部の特別編‘たかがエノキ、されど丸金のえのきダケ’の著者、金子敬介君でした。医師の学びを修めた31歳の青年でした。(⇒19頁参照)

椅子から1日計32回立ち上がることから帰還後の飛行士たちの長いリハビリが始まるのだとか……。比べれば、私の状態など、まだまだ楽ですと励まされています。腰痛での痛みのお蔭で、生きる為に必要なことをたくさん学んで、無事に一ヶ月間の入院で、8月2日退院しました。

現在10月も半ば過ぎ、腰の状態は、朝起きて顔を洗う時に自然に曲げることまでは出来ず、化粧台の手前に肘をついて洗っています。後は、外を歩く時に、杖も使わずに歩けるようになりました。歯菌の怖さを経験して、これからは、啓蒙してきてきます。虫歯の治療と歯周ポケットをキレイに磨くことは日々の大事なこと、と言う以上に、思ったよりも大事なこと。大きな病気に至らない唯一の方法のようです。皆さんも今までよりも気にして、続けるようにしてください。病気の源は、歯に住み着いた菌が原因だそうです。

今回のダイヤモンド道は、今到達しているダイヤモンドの使命について、聖書の創世記に書かれた文章を参考にしながら、私が到達した思いも加筆してまとめてみたいと思いました。

ユダヤ教・キリスト教の聖典である旧約聖書『創世記』の冒頭には、以下のような天地の創造が描かれている。創世記1章1-8節（口語訳聖書）

1日目 神は天と地を創られた（つまり、宇宙と地球を最初に創造した）。

暗闇がある中、神は光を創り、昼と夜が創られた。

2日目 神は空（天）を創られた。

3日目 神は大地を創り、海が生まれ、地に植物を生えさせられた。

4日目 神は太陽と月と星を創られた。

5日目 神は魚と鳥を創られた。

6日目 神は獣と家畜を創り、神に似せた人を創られた。

7日目 神はお休みになった。

日常でもよく引用する文章になりました。私が今、3日目に追記するのは、神が3日目に大地を創られた時、地の中に、一番硬い物質・ダイヤモンドを創られていた、ということ。

そのダイヤモンドは、二つの特長のあまり、一つは物質的な硬さによって、現在の世界が人によって創られた、ということ。硬いものを切り、磨いた。もしこの硬さの物質がなければ、今の地上世界は出来なかったように思えます。

一方500年前から、一番硬い物質ダイヤモンドの粉末でダイヤモンドそのものを磨くことに気がついたヨーロッパ人によって、ダイヤモンドは最も美しい宝石になりました。以後、宝石の王として尊重され続けていました。現在もそうです。しかしさらに深く、光を完全反射させる角度を内包していたことを、1919年にアメリカ人のトルコフスキーが明かしたのが、理想(アイデアル)のカットの図でした。しかし、アメリカで三つの会社が図の通りのカットに挑みましたが、どの会社も磨くことは出来ませんでした。理想通りのカットになっているか否かを調べる器具もなかったのです。

そんなダイヤモンド業界がまかり通っていた最中に、ダイヤモンドを売りに来た男に私は仕掛けた。

「理論通りに磨かれたダイヤモンドのカットかどうかを一目で解るような器具を創って見せてくれよ。それで、納得できたら、買うよ……」と追い返した。

7年掛けてその男が創ってきたのが、ファイヤー・スコープだった。確かに、素人の私にもダイヤモンドがどうカットされているかが一目見て解った。それなのに、全反射するようにカットされたダイヤモンドは生れなかった。

世界の Cutter 達でも出来ないならば、自分で磨くしかないと決意して誕生したのがエイトスター・ダイヤモンドです。そのダイヤモンドは、まず、神が一日目に創られた光を受けて美しく輝く物質となり、そして、7つの不思議に導かれて、見えない世界に目覚めさせられたのが、エネルギー(気)の世界であった。

縁は常に向こうから自然にやって来た。気を測定するドイツの器具EAVが届けられた。6日目に創られた人の気を測定する器具だった。極められたカットのダイヤモンドを通った光は、人をネガティブに刺激するすべての物の気

を、人にとって最善の気に調整する（気エネルギー）を持っていた。その典型が、電磁波だった。

実は、それは、神が一日目に創られた光の见えない部分、気だった。

3日目に創られたダイヤモンドが、一日目に創られた光の気を受けて、6日目に創られた人間の気を完璧に調整する。人が創ったエネルギー（電磁波）の害さえ消す。

だから、だから私は、創世記にも書かれている120歳まで生きて魂を完成させたい。出来る、と思った。120歳の根拠は、勿論、聖書である。

「わたし（神）の霊は、永久には人のうちにとどまらないであろう。それは人が肉にすぎないからだ。それで人の^{とし}年齢は、120年にしよう」と書かれているからだ。

第一に気づかなければならないことは、生きている限り、人には神が宿っている、ということ。そして、120まで一緒だということ。

120歳まで生きるには、三次元の現実世界の中に目標を持っていては、成し得ない。成し得るには、見えない心の部分に目標を持たなければならない。それが、魂。しかも、魂の完成。120歳まで期限がある。まだまだ余裕の77歳。あと43年もある。そんな気に、本気になるには、少なくとも半分の60歳を超えなければ、遠すぎる。本気になれない。それまでは、精々3次元の世界の仕事、生き方と身体を気遣って、この一時を無駄にせずに生きていこう。

20代～40代の人たちに、120歳と言っても実感は湧かないだろう。私の40までは、セールスの会社を経営して、日々パワハラのトップとして世界一のソニー製品の販売会社を経営していた。長生き出来るとは思いもしなかった。3歳で発症した喘息がひどかったからね。

44歳の時にダイヤモンドを始め、45歳でカットが完成して、訳の分からない不思議に導かれ、46歳で見えない世界（霊的）に目覚めた。まだ、いくつまで生きられるか考えもせずに、この瞬間に全てを集中して生きた。そして、人が魂の存在であることを知った。魂の完成の為に生れてきていることを知った。魂の完成とは、人の心（意識）が神と同体になることだと学んだ。神との同体とは、一切かっさいに、言葉を発しなくなることだと学んだ。確かに神は、一切の人間の悪事にも言葉を発しない。見守り続けるだけ。それを120歳までの生ある間にやり遂げることだ。

私の師は、最初に出会った霊的な不思議人、^{おうれいか}王麗華先生だ。無言で、身を

もって示して下さった。77歳の私にもまだ43年ある。60歳を超えても60年ある。だから、それ以前では、その気になりにくくて結構。でも若い時から、ここを知って生きるか、知らずに生きるかは後に大きな差になる。そう気づいて説く者が居ないのだから、気づける人だけの世界になる。気づいて向かわないから、長生きが出来ない。皆またどこかの国に生まれ変わって人間を繰り返す。

完成出来ることが、人間が生れてきている理由だと私は信じきっている。信じただけではなく、そこにはエイトスターがあった。人の気の子供と同じ自然治癒力・免疫力を最善に調整するエイトスターがあった。神が係わっているダイヤモンドがあった。

ケガもする。病気もする。今回の腰痛では、さすがのダイヤモンドも、オール50の気の身体も細菌には敵わなかったことを知った。細菌がすべての元であることを知った上で診察している医師・病院があることも知った。価値ある、学び多い腰痛だった。120歳まで生きる為の病気にならない原点を知った。

しかし、残念だったのは、その痛み（炎症）の最中にEAV測定が出来なかったこと。気がついていれば、病気前の炎症がどんな数値だったのか、測っておけたのに……。痛みが脳の全てを支配していて、思いも及ばずだった。

ダイヤモンドが細菌に負けた状態だったのだ。病気になりにくい状態に身体の気を調節してしまう、と言っていた本人が、小さな細菌に負けた瞬間だった。細菌（ウイルス）には、光の気も相手にならなかった。あの痛みの炎症状態は、EAV65を越え、70、いや、それ以上だったかもしれないと思う。しかし、病気までに進行せずに炎症で止まっていた、と考えれば、ダイヤモンドを通った光の気は、効いていた。効果あり、と言えるけど…。

EAV50は、自然治癒力・免疫力を一番刺激する気の数値。120歳への道に追加することがあるとしたら、出来るだけオール50の気の食を食べていること。薬の適量を測定するために使われているEAVを、食べるものにも適応させて50のものを主に食べていることを加えておきます。

今は、吉野屋牛丼・日高屋の料理・吉ソバの三店の食事。

スマホでも検索できますが、東京に14店しかないという吉ソバのこだわりを紹介します。

- ① 無添加の美味しいつゆ。創業124年の伝統に培われた三重県桑名でつくられた本醸造の醤油を使用（化学調味料、着色料、甘味料不使用）。この醤油に、かつお、日高昆布のダシを合せた自然な極上の味わいにこだわった無添加の美味しいつゆです。
- ② 新鮮な国産野菜使用。お客様への安全と、もちろん味にもこだわり、各地から厳選された新鮮な野菜を使用しております。
- ③ 国産そば粉をふんだんに使用。長年試行を重ね、作り上げた特性のそば粉です。
- ④ 日高昆布・天然かつお節を使用。旨みの素の天然イノシン酸を一番多く含んだ天然かつお節と、海の香りをいっぱい含んだ、日高産昆布をふんだんに使用しております。

こういう内容で食事を作っている処があったら、その食事は、人の気を病的に刺激しない、素晴らしい食であることを間接的に理解して食するようにしましょう。その為に、吉ソバの詳しい情報をお伝えいたしました。日々の食べ物の気を知っておくことは、自信を持って生きることにつながります。

最後に、改めて今回の腰痛については、ご心配、お心遣いいただきまして有り難う御座いました。学んで、また一步120歳に向けて前進しております。